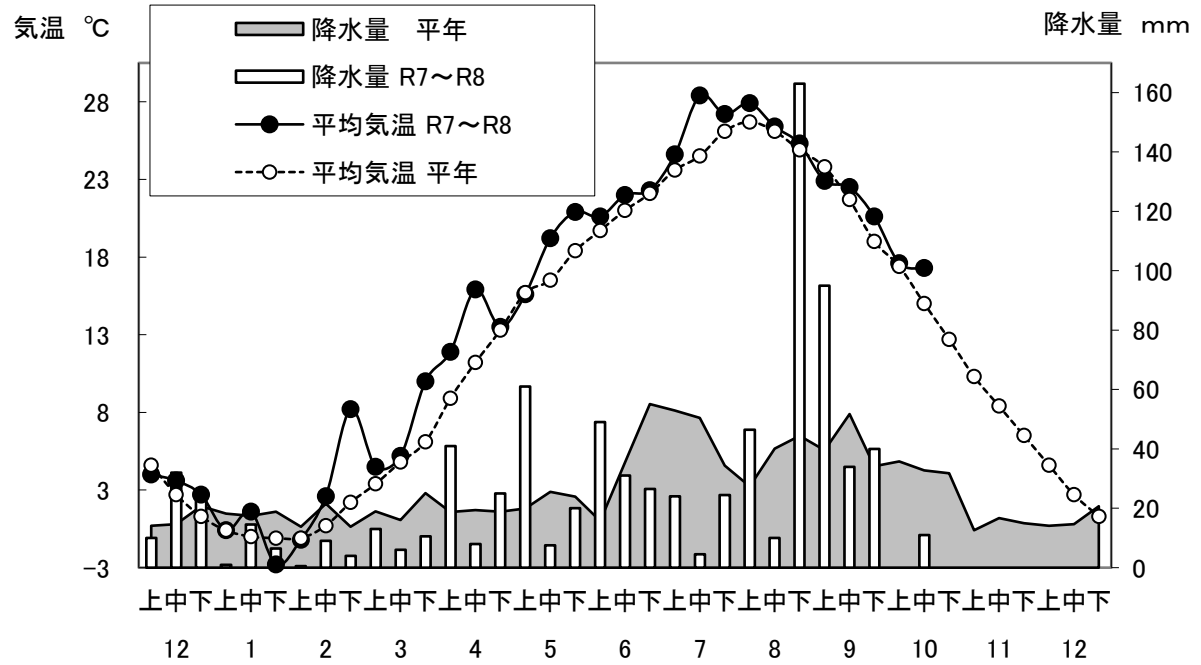
農作物の生育状況（10 月 15 日現在）について

令和８年 10 月 15 日
長野農業農村支援センター

【気象データ】



平均気温と降水量（気象データアメダス長野）

【作物】

(1) 水稲

収穫作業は、降雨の影響により一時は平年より遅れていたものの、その後の天候回復により進捗し、現在は概ね平年並みとなっている。一等米比率は全体的に高いものの、一部地域では充実不足や斑点米カメムシ類の被害による等級低下がみられる。収量は平年をやや低く、１割程度少ない。また、一部地域では青死米の発生が多くみられる。白未熟粒の発生は前年より少ないものの、茶米の発生が多い。

(2) 大豆

標準播種大豆は落葉期～成熟期、麦後播種大豆は黄葉期を迎えている。降雨の影響により一部ほ場では湿害や茎疫病の発生がみられたものの、生育は概ね良好。夏季の干ばつにより一時生育が抑制されたが、その後の降雨により子実肥大は回復している。また、本年はカメムシ類の発生が少なく、吸汁害も少ない。

(3) ソバ

信濃町・戸隠では結実は概ね良いが、生育後半の降雨の影響により湿害や倒伏が発生している。千曲市では湿害の影響が大きく、一部で収穫を断念し耕起したほ場もみられる。全体として収量・品質への影響が懸念される。

【果樹】

(1) りんご

「秋映」の収穫が終了し「シナノスイート」、「シナノゴールド」が収穫期を迎えている。「シナノゴールド」はデンプン消失が早期化と酸度低下がみられるため、収穫期が早期化している。「ふじ」についても外観の着色よりも酸抜けやデンプン消失が早く内部先熟となっている。

９月の長雨により、褐斑病の発生が目立つ園地が散見される。腐敗性の病気は長雨の割には発生が少ない。

⑵ ぶどう

「クイーンルージュ®」、「シャインマスカット」とも収穫終盤を迎えている。「シャインマスカット」、「クイーンルージュ®」ともに長雨の影響により糖度上昇が緩慢であったが、数日の晴れがあってからは糖度上昇が確認された。

「クイーンルージュ®」は果底部裂果が確認された。

【野菜】

⑴ アスパラガス

雨よけ栽培について、黄化が遅れているほ場について、地上部の刈り取りを遅らせたい。露地について、長雨の影響による茎枯病が蔓延しているほ場がある。

⑵ 果菜類

日照不足により、露地ピーマンは、品質低下・下位等級の発生が多い。ハウスキュウリについても病気発生あり。

⑶ ナガイモ

生育後半の降雨による地上部の病気、長芋の肥大（裂根他）が懸念される。

【花き】

トルコギキョウの７月下旬定植で出荷期を迎えている。生育は、8 月下旬からの長雨による日照不足の影響を受け、軟弱ぎみ、枝数不足等品質低下がみられる。

【畜産】

信濃町で９月 17 日から始まったデントコーンの収穫は９月末で終了した。牧草は夏季の水不足により草丈が伸びず、９月下旬に掃除刈りが行われた。